

Rotary



2017-18 年度 R I のテーマ「ロータリー：変化をもたらす」

R I 会長 イアン H. S. ライズリー (ROTARY SERVING HUMANITY)

八戸南ロータリークラブ会報

例会日：毎週木曜日 12：30 例会場：八戸パークホテル



●ガバナー 佐々木 千佳子 ●会長 米内 安芸 ●幹事 吉田 賢治 ●コミュニケーション委員長 大橋 央雅

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

f Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

第 2061 回 例会 記 録

《次年度会長担当例会》

2018 年 5 月 24 日 (木)

点 鐘 12：30

レポート No. 1493

《会長要件》米内会長



職場訪問例会では久保田職業奉仕委員長さんありがとうございました。美味しい弁当のお手配等お手数をおかけ致しました。また、先週の雨の長者山早朝例会お疲れさまでした。ザアザア降りの中でやったのは記憶がなかったのですが、会員増強など様々果たせなかった案件への天から私への叱責のようでした。ですが雨天の中、多くのメンバーに集まっていただき感謝です。

5 月のホームでの例会は今日 1 回だけで次年度会長担当例会です。

次年度会長の西村先生の事で私は知らなかったのですが皆さんご存知でしょうか、八戸市のあの円いマークの市章を作成されたのが西村先生のお祖母様だったことを。西村先生が 2009 年 8 月に市庁舎まゑに市章と由来を刻んだ石碑を建立されておりました。そこを通ってもなかなか気が付かないのですが写真で取ったデータを持ってお見せしようと思いましたが間に合いませんでした。あそこを通ったときには気を付けて見てみてください。その由来には“八戸市の市章は市制施工後に一般公募され、昭和 6 年に制定されました。市章の作者は、二十八日町（現柏崎一丁目）在住の西村喜一郎ですが、本人名義と妻「つね」名義の二作品を応募したところ、妻名義の作品が最優秀となり採用されました。市章は、八戸南部家の家紋「向鶴紋」をモチーフとし、「八戸」の二文字を巧みにデザイン化したものです。また鶴が未来に向かって羽ばたくかのような広がりを見せ、気品と力強さを兼ね備えた市章として高い評価を得ています。”と刻まれておりました。

今月は『青少年奉仕月間』です。当時市に制定されたばかりの若い八戸が“鶴が未来に向かって羽ばたく”と謳った言葉は世代を問うことなく青少年の未来を明るく表していることに思えました。どうぞ見ていただければと思います。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



久保田職業奉仕委員長

《出席報告》田守副委員長



正会員数 37 名。本日の出席は免除会員 4 名を含む 24 名。出席率は 70% です。前々回の例会は、職場訪問例会でした。

《本人誕生日》



西村会員

《配偶者誕生日》



久保田会員

《結婚記念日》



橋本会員



野澤会員

《幹事報告》吉田賢治幹事

・年度末慰労例会の出欠を回しています、当日南風会ゴルフもありこちらも出欠を回しています。

・6 月 14 日の例会後に現年度・次年度の委員会の引継ぎを行います。委員長が出席できないときは代理の方の出席をお願いします。

・弘前西 RC の 40 周年記念式典の案内が届いています。

・長生園だより、ザ・ロータリアン誌が届いています。

・例会変更のお知らせ、八戸 RC 6 月 27 日 (水) 時間変更、八戸東 RC 6 月 1 日 (金) 日時場所変更、6 月 29 日 (金) 時間変更、八戸北 RC 6 月 5 日 (火) 任意休会、6 月 26 日 (火) 時間変更です。



《ニコニコボックス》西尾委員長

米内会長：職場訪問ありがとうございました。今日は西村次年度会長よろしく。

野澤会員：お陰様で45回目の結婚記念品でした。月日は早くたちました。

西村会員：先週の地区研修・協議会に出掛けられた皆様、ご苦労様でした。

本人誕生日：西村会員

配偶者誕生日：久保田会員

結婚記念日：橋本会員、野澤会員



《西村会長エレクト》



先週の土曜日に弘前市で行われた地区研修・協議会に、私を含めて9名の会員で出席してきました。このあと、参加した皆さんからの報告があると思いますので、私の話は手短かにしたいと思います。

3月のPETSの後あたりから、クラブ内外での会合への出席も多くなり、次年度のために準備することも様々ありましたので、自然に次年度への心構えができつつある気が自分ではしています。なるほどロータリーのシステムはうまくできているな、と感心しているところです。

まず、恒例ですので、次年度RI会長テーマからご紹介したいと思います。

次年度テーマは、BE THE INSPIRATION 「インスピレーションになろう」です。RIテーマは毎年英語で分かりにくいのですが、今年は超意味不明で、PETSの時もガバナー以下、皆首をかしげていました。これは、私が思うに、インスピレーションが なまじ日本語として定着しているのが原因だと思います。インスピレーションと聞くと、私たちはどういう意味を思い浮かべるのでしょうか？ 直感、靈感、ひらめき などでしょうか？ ところが、インスピレーションのもとになっているインスパイアという動詞には、「勇気を与える、元気を鼓舞する」という大事な意味がありますので、「勇気や元気をあたえる人になろう」と解釈すると分かりやすいのかなと私は思っていますが、まあ解釈は人それぞれでいいのかもしれませんが。地区スローガンは「ロータリーの素晴らしさを伝えよう」です。これはシンプルで説明はいりませんね。さらに今井次期ガバナーは11項目の地区目標を掲げていますが、長くなるので今は割愛したいと思います。

私たちの八戸南RCのテーマは、「みんなが主役！ わくわくクラブ」と致しました。初めは「みんなが主役！」だけでしたが、先月のコミュニケーション委員会担当例会の時に、大橋委員長のお話でしたが、知り合いの方を勧誘したところ、「あなたのロータリークラブは、わくわくするところなの？」と尋ねられたという経験談がとても心に残ったのです。それをヒントにいただき、「わくわくクラブ」を加えました。

このテーマには、私たち会員の一人一人が、そして全員が、例会や親睦・奉仕活動に心から率先して

参加したくなるような、わくわく感のあふれる八戸南RCであってほしいという願いを込めました。とはいえ、私は入会后4年にも満たない未熟者です。私は榊年度の9月入会ですので、私が存じ上げている会長は、榊さん、伊藤さん、吉田立盛さん、米内さんの4名の会長さんですが、皆さんさすがと思える立派な会長でした。もちろんそれ以前に会長を務めた会員も錚々たる方々で、私は足下にも及びません。

それでも何とかやっていけそうな気がしているのは、皆さんが支えてくださると信じているからです。非力な私を、三川副会長、西尾幹事、伊藤SAA、小原会計担当、事務局の赤穂さん等、あえて他の皆さんのお名前を挙げることはできませんが、経験豊富で有能なスタッフが脇を固めてくれるのは心強いことです。

私は、趣味がジョギング、であるように、単純ではありますが前に向かって走ることだけはできます。7月からの1年間、八戸南RCが、何よりも会員のためにある より良いクラブであるように前を向いて走り続け、少しでも良い形で次の吉田年度につなげたいと思っています。

では引き続いて、5月19日に行われました地区研修・協議会のことを、出席されました皆さんにご報告いただきたいと思います。

《久保田次年度ガバナー補佐》

次年度のRCの方針と2830地区ガバナーの方針は先ほど会長がお話しされました。ガバナーの地区目標は11個あります。1、公共イメージの向上、2、会員増強、3、地区補助金の全クラブ申請、グローバル補助金のクラブ申請、4、新クラブの設立、5、メイクアップの推進、これはちょっと目新しいもので新人ロータリアンのメイクアップ料を地区で負担するというもので当初聞いたのとだんだん変わってきましたが、先輩ロータリアンと一緒にグループ内のクラブに入会3年以内の会員がメイクアップした時にそのメイクアップ料を補助するというものです。もちろん新人の分だけです。6、ローターアクトクラブの新設と会員倍增、7、ロータリー財団寄付一人当たり年次基金150ドル、ポリオプラス30ドル、8、米山寄付記念奨学会一人当たり2万円（特別寄付）、9、My ROTARY登録比率の大幅アップ、10、戦略計画委員会の設置、11、ロータリー賞へのチャレンジという目標が掲げられております。本人もおっしゃっていましたが、どれも欲張って11個やったということでございました。



《西尾次年度幹事》



地区協議会で弘前に行きましたがPETSと合わせて2回目です。前回から今回にかけて次年度のプログラムであったり予算案であったり色々と勉強しながら準備を進めているところですが、さらに次年度に向けて頑張っていこうと思った会議でした。会長・幹事・会計部に

出ましたのでその報告をさせていただきます。地区負担金一人 2 万円が次年度 2 万 5 千円に戻すというお話がありました。予算の使い道での話では資金要項を改定し資金の上限額を引き上げて地区の活動を支援していきたいとのことでした。その他地区の事務局を固定化していきたい話がありましたがこれはクラブでの承認事項ではないけれども次の沼田ガバナー年度から固定化していきたいという話でした。地区大会などは今まで通りでやるが事務局を固定化したほうが経費の削減にもなるので検討しているということでした。

次年度幹事としての報告ですが皆様のレターボックスに委員会の編成表を入れてありますので何かご意見がありましたらお知らせください。各委員長には予算案の確認のお願いも入れてありますのでご確認の上今月中に事務局までお知らせください。

《三浦会員》

石橋さんの代わりにロータリー財団の部会に出席しました。財団の今年度の目標は年次基金一人 150 ドル、ポリオプラス 30 ドルということでしたのでよろしくお願いします。



《熊谷会員》



コミュニケーション委員会として公共イメージ向上部門の分科会に参加しました。オブザーバーでガバナー補佐の久保田さんがいらっしゃったし吉田立盛さんもいらして南ロータリーが 3 人いてゆったりした気持ちで参加してきました。コミュニケーション委員会の趣旨としてはロータリークラブの広報イメージをいかにアップさせるかということで会議の最初のあたりは My ROTARY の登録を推進しようとかやっている奉仕活動をメディアにどんどん発信して新聞に載せてもらおうとかニュースに流してもらおうとかそういう話ばかりだったのですが、そんな中、久保田ガバナー補佐が素晴らしいことをおっしゃられました。それよりも何よりもロータリークラブがやる奉仕活動を私どもだけでなく地域の方々を巻き込んで進めた方が素晴らしいことになるのではないかというお話が出まして私もすごく共感しました。後半は結構強い口調で皆さんにロータリークラブとして今やるべきことは、自分たちだけではなく地域の人たちと一緒にやるという方向に進めていけばよりロータリークラブのイメージアップにつながるのではないかというお話しでした。

《大橋会員》

社会奉仕・職業奉仕の分科会に出席しました。まず初めに社会奉仕と職業奉仕の違いが分かりますかと私が当てられたのですがよくわからなくて、その人も良くわかってはいないようでしたがよく言われ

ているのは奉仕活動をして受益者が地域の人たちであれば社会奉仕、受益者がロータリークラブ内であれば職業奉仕というように聞きましたが、受益者の線引きがはっきりしているわけではないのであまり考えなくても良いですよとも言われあんまりわかりませんでした。四つのテストについてですがあるロータリークラブでは四つのテストの歌というのを歌っているそうでユーチューブで見たのですがただ単に真実かどうか、から、みんなのためになるかどうかまでをメロディとして流しているだけなのですがそういうのも面白いと思いました。



《吉田賢治会員》



米山記念奨学部門の分科会に出席しました。米山記念奨学金というのは勉強、研究のために日本に私費で留学している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する奨学財団だということです。今青森県で奨学金をもらっている生徒さんは青森と弘前で 10 人いらっしゃるそうです。野坂委員長さんとしてはもう少し人数を増やして 12 人くらいにしてあげたいと熱く語っておいりました。その為には皆さん方の寄付が必要で今皆さんからいただいているのは基本的に一人当たり 2,000 円の年次寄付とその他の特別寄付を戴いていますが目標としては一人あたり年間 15,000 円お願いしたい、現在 2830 地区の寄付金は一人当たり 8,000 円くらいなので何とか 10,000 円にして、最終的には 15,000 円、20,000 円と全国平均に近づけたいとのことでした。どのようにお願いするかは具体的にはまだ決まっていないようですが、昨年 10 月にうちのクラブにも米山奨学生をお招きして発表してもらいましたが、今後も沢山のクラブに奨学生を呼んでいただきながら皆さんにお願いしたいと話していました。西村年度にも奨学生をお招きすると思いますが温かくお迎えして、合わせて寄付もお願いしたいと思います。

《伊藤会員》

会員増強部会に出てまいりました。地区の目標としては女性会員と若い会員を増やすことが重点目標です。今現在女性会員のいないクラブが何クラブもありましてどうしてなのかそれぞれのクラブから聞きました。青森、八戸、弘前という大きなクラブには女性会員が居なかったのですが、青森クラブでは昨年一人女性会員が入ったことにより今は増えているということでした。当クラブは女性会員もいるし若い会員もいますがそれぞれもう少し増やさないといけないなと思って帰ってきました。

